

職場体験に来てくれました！ 2017年6月2日

6月2日（金）に岐阜市立藍川中学校の生徒さん11名と先生お二人が修学旅行の最終日に来てくれました。広島から大阪へタベ移動したとのことで、最初は皆さんお疲れモードかな、という印象でした。

ちょうどこの日は、地元大正区の中央中学校から1名の生徒さんを職場体験として受け入れていましたので、一緒に行動してもらいました。

まず、大正区を知ってもらおうと、現在の町の様子と昔の風景をプロジェクターでみてもらいました。会社の概略の説明の後、木場でスタッフが木材について解説しました。

つぎに木工体験として座彫りを体験してもらいました。出来上がりがちょうどキャラクターの形になるのを発見してもらいました。



きごころのスペースに戻って、今度は大阪産の板の上に墨で思い思いの文字や絵を書いてももらいました。



時間があったので、全員に木材切りをしてもらいました。9cm角の木を切るのですが、切るのがすごく早い女の子や遅い男の子がいました。地元の彼は早かったです。

最後に女性の先生お二人に競争をしてもらいました。あとで腕がパンパンとおっしゃっていました。



普段の職場体験ではここまでですが、予定時間よりも30分ほど余裕があったので、15分間マンガ仕立ての木材利用啓発のDVDを見てもらいました。



訪れてくれる生徒さんに毎回質問するのですが、「木を切ることは、良いことか悪いことか」。大人の遠慮はいらないので、正直に答えてというと、たいてい6割ほどの子供たちは「悪いこと」と手を上げます。



職場体験を受け入れることは、次世代を担う人たちへの一助ということや、街の活性化という目的があります。

そして、木を多く使うことの大切さを伝えることは、木材を扱う企業としての責務だと思っています。

そんな思いで、これからもこのような取り組みをしていきたいと感じています。

